

# 事例 4

# 夢はばたく梨の里づくり

やまのうち

～ 県営農地開発事業「山ノ内地区」～

[ 旭町 ]



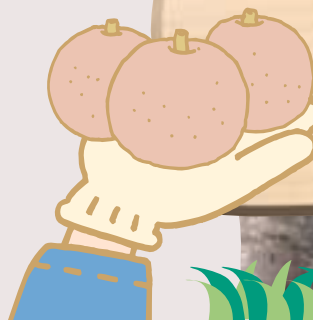
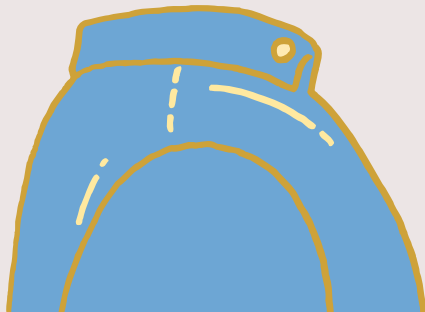
## 【地区の概要】

### 新農業構造改善事業

事業年度 昭和58年度～昭和62年度  
 事業費 225,000千円  
 造成面積 6.4ha  
 植栽面積 3.9ha

### 県営農地開発事業

事業年度 昭和60年度～平成12年度  
 事業費 2,651,000千円  
 造成面積 42.0ha  
 植栽面積 33.8ha



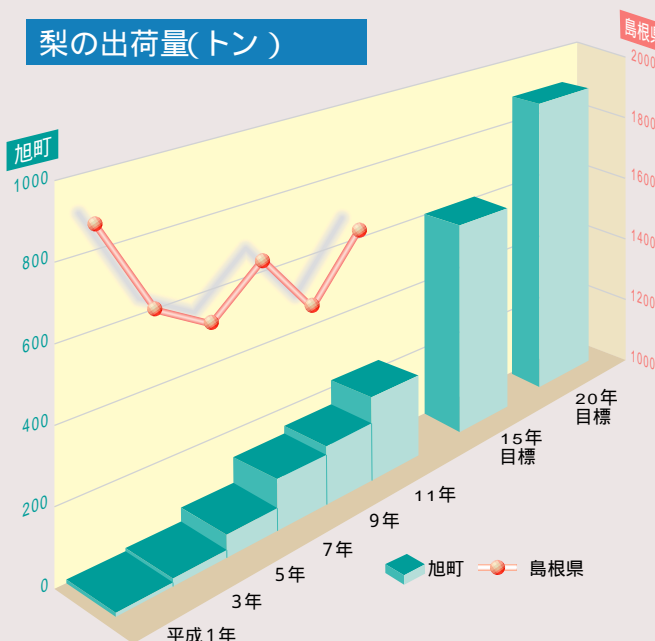
旭町においては、事前の徹底的な先進地調査・市場調査、周到的準備と綿密な計画の基に農地開発を行い、未経験の「赤梨」の産地づくりに取り組んできました。

現在、「幸水」「豊水」を中心に、約17,000本が植栽され、2法人、12戸の農家が梨栽培に取り組んでいます。

県営農地開発事業に先行し、新農業構造改善事業により栽培・経営技術を確実なものとし、新農業構造改善事業は平成元年、県営農地開発事業は平成5年に初収穫を迎え順調に出荷量を伸ばしており、平成11年度には県下の生産量の約1/7を占めるまでに成長を遂げました。

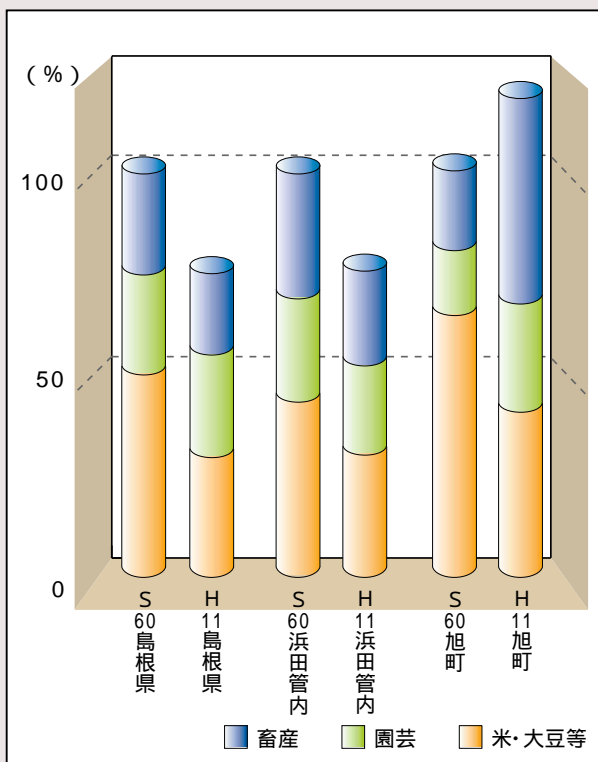
現在、成木は約10%程度であり、平成20年には約900トンの出荷量を目標としています。

## 梨の出荷量(トン)



このような取り組みの結果、県下では農業粗生産額が減少傾向にある中、旭町では平成11年に農業粗生産額は、対昭和60年比118%と増加しています。これは果樹に代表される園芸部門の延びのほか、畜産部門(養豚)の躍進によるものであり、造成畑の土づくりへの堆肥活用が両部門の生産拡大に大きな効果をあげています。平成20年の梨出荷量目標が達成されれば、農業粗生産額は更に2億円あまり増加するものと期待されています。

農業粗生産額の推移(昭和60年度を100とした場合)



農業粗生産額

単位：百万円

区分	島根県		浜田農林振興センター管内		旭町	
	S.60	H.11	S.60	H.11	S.60	H.11
畜産	25,279	18,430	2,336	1,594	189	413
園芸	21,476	21,530	1,540	1,493	125	261
米・大豆等	45,013	28,910	2,971	2,001	545	342
合計	91,768	68,870	6,847	5,088	859	1,016

